

2015年9月26日(土)

当院のPNLの現状

済生会新潟第二病院
吉水 敦・車田茂徳

2012年から2014年までに当院で施行したPNL147例につき検討した。男性88例、女性59例、平均年齢57.6歳(20-88歳)。最大結石の長径は20mm>56例(38%)、20-50mm74例(50%)、50mm<17例(12%)で中央値は22.9mm、最大結石の表面積は200mm²>57例(39%)、200-600mm²65例(44%)、600mm²<25例(14%)で中央値は234.9mm²。

当院では腎瘻は26Fか30Fのアンプラッツシースを使用し一症例につき原則2回のPNLを予定することを原則としており、1回のPNLと2回目は腎盂鏡検査で終了した症例47例(32%)、2回のPNLが必要であった症例97例(66%)、3回のPNLを要した症例は3例(2%)で、腎瘻の本数は1本146例(99%)、2本1例(1%)であった。手術時間は1回目の手術は平均56.0min、2回目手術は平均20.7min、3回目手術は平均45.6minで、術後のKUBで残石が全く指摘でないものは119/147(81%)、術後のKUBで4mm以上の残石を認めないものは126/147(86%)であった。

合併症としては、術後38.5℃以上の発熱を認めた症例は17例(12%)あり内1例(0.7%)でショック症状を認めた。術後出血に対してTAE施行症例が5例(3%)あり内1例(0.7%)で輸血を必要とした。ほかには大きな腎盂損傷を2例(1.4%)に認めたが周囲臓器損傷はなかった。